令和4年度

第1回小松市環境審議会

令和4年7月7日（木）　14時～
小松市役所703・704会議室

議案第1号

ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた制度見直しについて

一般廃棄物に係る専門部会報告

5月9日、6月28日に専門部会を開催し、下記の事項について審議を行った。

1. 指定袋の価格
2. 指定袋のデザイン・名称・枚数
3. ごみ集積場設置事業補助金
4. 家庭用生ごみ処理機・コンポスト等設置事業補助金
5. 資源の出しやすい環境づくり
6. やさしい福祉施策
7. ごみ減量化（3R・3バック・3キリ）の啓発
8. デジタルを活用したごみ出しマナーの啓発
9. 食品ロス対策
10. 大規模排出事業者への指導
11. 事業所のICT化の推進

審議の結果、各事項について以下の通り環境審議会に報告することを、全会一致で承認を得た。

一般廃棄物に係る専門部会報告

昨年2月の中間答申で答申した内容に加え、詳細な制度の内容や具体的な支援策について、以下の通りとすることを専門部会として提案する。

❶指定袋の価格

〇現行の販売単価を据え置き、1枚あたりの単価を以下の通りとする。
　L（45L）：21円　LM（30L）：19円　M（20L）：15円　S（12L）：10円

❷指定袋のデザイン・名称・枚数

〇デザインを一新するとともに、名称を「小松市指定ごみ袋」に改め、1パックあたりの袋枚数を、L・LM・Mサイズは10枚に変更する。
〇指定袋の一新後も、従来の指定袋は使用可能とする。

一般廃棄物に係る専門部会報告

❸ごみ集積場設置事業補助金

ごみ集積場の管理を行う町内会の負担軽減のため、ごみ集積場に係る補助金を以下の通り改正することを提言する。

〇現在「一般型」と「景観配慮型」に分かれている集積場設置に係る補助金を、「集積場整備事業」として一本化し、補助金額の上限を従来の一般型8万円・景観配慮型20万円から、一律25万円に、補助率を一般型2分の1・景観配慮型3分の2から、一律3分の2に設定する。

〇補助金の交付を受けた集積場は、7年間再度補助金の申請を行うことができないという基準について、集積場単位から集積かご単位とする。

〇防犯カメラ等への補助金を「集積場関連整備事業」として別途設け、補助金額の上限を10万円、補助率を3分の2に設定する。また7年間の制限を「集積場整備事業」とは別に設け、2種類の補助金を同時申請可能とする。

❹家庭用生ごみ処理機・コンポスト等設置事業補助金

〇可燃ごみの約4分の3を占める生ごみの減量化のため、生ごみ処理機購入に対する補助金を拡充し、補助金額の上限を30,000円から50,000円とする。

一般廃棄物に係る専門部会報告

⑤資源の出しやすい環境づくり

〇市民が近くで資源を出しやすい環境づくりのため、市・民間とも近隣にリサイクルステーションが所在しない松東地区に市によるリサイクルステーションの新設を提言する。
〇リサイクルステーションについて、町内会説明会でのマップの配布や、市ホームページでの周知を行い、市民の利用を促す。

⑥やさしい福祉施策

〇これまで対象としていたおむつを必要とする要介護者や障がい者、乳幼児に加え、生後3～12カ月の子どもに毎年紙おむつを配達する「赤ちゃん紙おむつ定期便」でも小松市指定ごみ袋を選択可能とする。
〇配布枚数をこれまでのMサイズ1パック（9枚）から、2パック（20枚）に拡大する。なお「赤ちゃん紙おむつ定期便」利用者については1回の配達ごとにMサイズ1パックとする。

一般廃棄物に係る専門部会報告

❼ごみ減量化（3R・3バック・3キリ）の啓発

〇町内説明会での周知
…各町内で3R・3バック・3キリの内容・具体例を制度とともに説明する。
〇広報こまつでの周知
…制度についての告知の際に合わせて掲載し、可燃ごみ減量についての特集記事も検討する。
〇リサイクルリーダー向け説明会での周知
…町単独で説明会を行わない町内会へ、リサイクルリーダー向け説明会で周知・啓発を行う。
〇市ホームページでの掲載
〇小学生向けに、エコロジーパークこまつ見学時のごみ減量化メニューを実施する。

❽デジタルを活用したごみ出しマナーの啓発

〇既存の「こまつのごみアプリ」、YouTubeで公開している分別動画を活用し、町内説明会での配布資料にそれぞれのQRコードを掲載して周知を行う。
〇制度改正に合わせ各集積場に設置するパネルを全町内会へ配布し、ごみ袋の変更、「こまつのごみアプリ」、ごみの減量化について周知を行う。
〇外国人に対しては、雇用する事業所や小松市国際交流協会での啓発活動を行う。
〇アパート等に対しては、アプリやごみ出しマナーの案内を宅建協会やアパートの管理会社に配布し、入居時に住民への配布を依頼する。

一般廃棄物に係る専門部会報告

⑨食品ロス対策

〇フードドライブ受取り窓口の拡充

…令和3年度に国府校下女性協議会でフードドライブを実施し、集まった食品を「国府みなみこども食堂」、「フードシェアあったらもん」に寄贈した。令和4年度以降、各校下女性協議会に定期的な活動を呼びかけ、受取り窓口の拡充や、こども食堂・フードドライブ実施団体につなぐ活動を積極的に推進する。

〇食べキリ協力店との連携強化

…飲食店にエコレシピ・アレンジレシピの提供を打診し、市のホームページで店舗とともに紹介する。既存の食べキリ協力店を活用・発信することで、新たな協力店の参加につなげる。

〇消費者への啓発強化

…10月の食品ロス削減月間に合わせ、広報こまつや商工会議所会報での啓発を行う。

一般廃棄物に係る専門部会報告

⑩大規模排出事業者への指導

〇大規模な事業用建築物の所有者に対し、廃棄物減量計画書の提出を徹底する。また各事業者の計画書から業種ごとの種類・排出傾向を分析し、ごみ減量化・リサイクル率向上のため、業種に合わせたきめ細かな働きかけを行っていく。

⑪事業所のICT化の推進

〇商工会議所会報などにより、事業所へICT化・ペーパーレス化を啓発する。
〇エコロジーパークこまつへ直接大量に紙ごみを持込む事業所に対して個別に啓発を行う。

制度改正案について

❶ 指定袋の価格 ＜専門部会案＞

基本方針 ： 現行の販売単価（45L袋あたり約21円）の据え置き

【現在の販売価格】

サイズ		枚数	販売価格	1枚あたり単価
L	45L	6枚	125円	20.8円
LM	30L	7枚	130円	18.6円
M	20L	9枚	135円	15円
S	12L	15枚	150円	10円

【改正後の販売価格案】

サイズ		枚数	販売価格	1枚あたり単価
L	45L	10枚	210円	21円
LM	30L	10枚	190円	19円
M	20L	10枚	150円	15円
S	12L	15枚	150円	10円

制度改正案について

❷ 指定袋のデザイン・名称・枚数 ＜専門部会案＞

名称	小松市指定ごみ袋
Ｉパックの枚数	Ｌサイズ・LMサイズ・Ｍサイズ＝１０枚 Ｓサイズ＝１５枚

※町内会で使用する「美化ピカマナー袋」は継続

制度改正案について

現行指定袋（ごみダイエット袋）の使用期間について

制度改正（令和5年4月）以降の現行指定袋

＜町内説明会における意見＞

・既にかなりの量の指定袋を購入してしまっている。

・指定袋が使えなくなると、袋そのものがごみになってしまい、減量化にならない。

➡ 制度改正（令和5年4月）後も使用可とする。

制度改正案について

③ ごみ集積場設置事業補助金 ＜専門部会案＞

＜現　行＞

【一般型】

区分	上限額	利用世帯数	補助率
新設修繕	8万円		要する経費の1/2
集約した場合	15万円	2箇所を1か所に集約し、100世帯以上	
	30万円	3箇所を1箇所に集約し、200世帯以上	

【景観配慮型】

区分	上限額	利用世帯数	補助率
改装	20万円		要する経費の2/3
新設	20万円	100世帯未満	
	25万円	100～199世帯	
	30万円	200世帯以上	

・一箇所の集積場につき、一度交付を受けてから7年間申請できません。
・監視カメラ、センサーライト等の設備も対象ですが、交付後7年間は下記の条件により他の修繕への交付はできません。

※　　の部分は過去5年以内に申請なし

集積場への補助金を集約

条件の変更

カメラ等への補助金を別途設定

＜改正案＞

【集積場整備事業】

対象	上限金額	補助率
集積場の新設・修繕	25万円	要する経費の2/3

・一つの集積カゴにつき、一度交付を受けてから7年間申請できません。

【集積場関連整備事業】

対象	上限金額	補助率
集積場管理に係る物品	10万円	要する経費の2/3

・防犯カメラ等の集積場の管理に必要な物品等が対象
・7年間の制限は集積カゴとは別に
・【集積場整備事業】と同時申請可能
・集積場整備と防犯カメラ等で最大補助上限額が最大35万円

制度改正案について

④ 家庭用生ごみ処理機・コンポスト等設置事業補助金 ＜専門部会案＞

■コンポスト・ボカシ容器・たい肥化容器

今回改正せず

R3年度 補助制度を改正
（R3年10月）

補助率	2分の1 ⇒ 3分の2
限度額	5,000円 ⇒ 7,000円

■生ごみ処理機

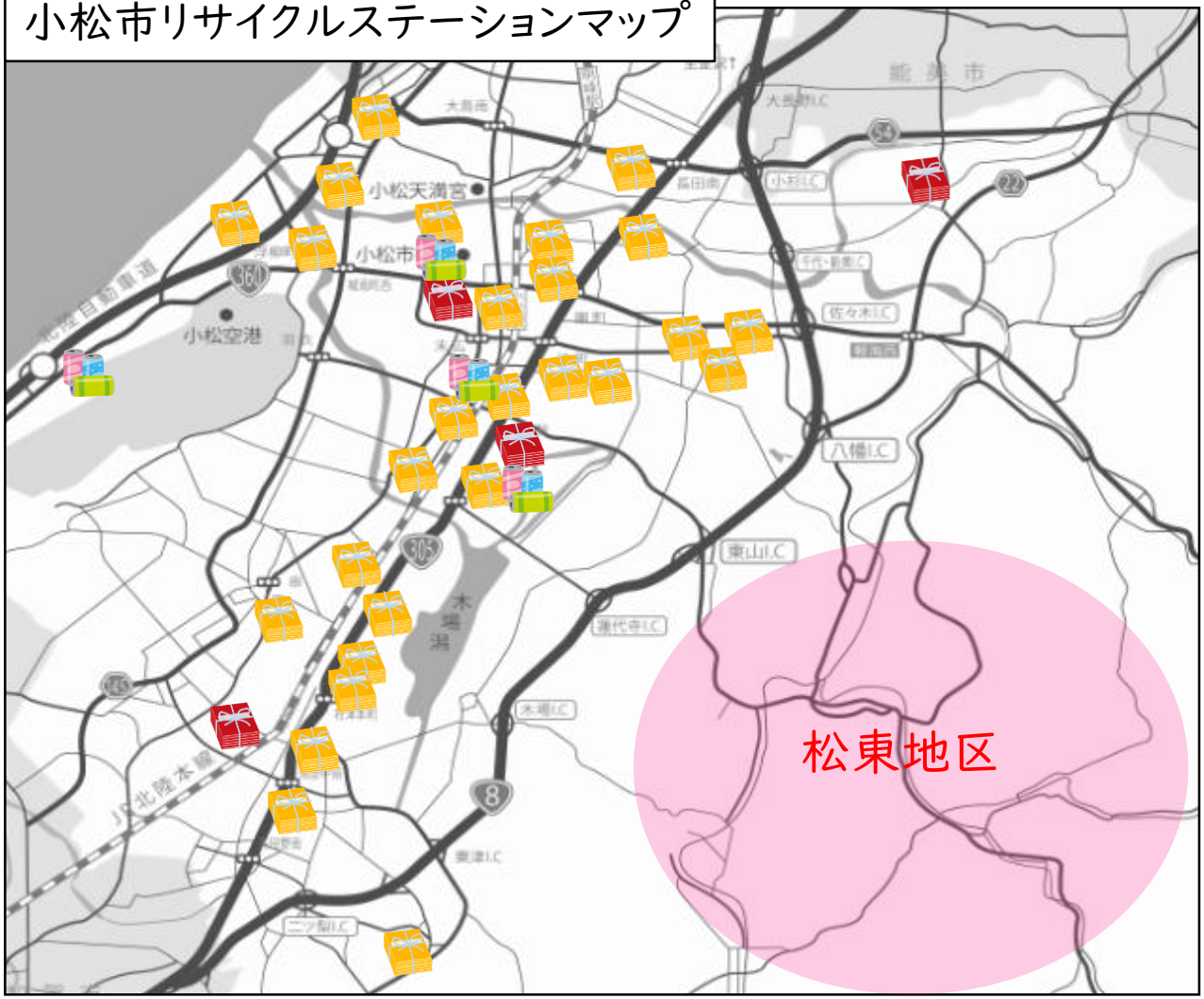
改正を提案

改正案	要件	①小松市民の方 ②小松市内の事業所で機器を購入すること ③家庭用生ごみ処理機及びコンポスト等のどちらかの区分で補助を受けた方は、その補助を受けた年度を含めて5年間、同じ区分での申請はできない （変更なし）
	補助率	2分の1 （変更なし）
	限度額	30,000円 ⇒ 50,000円

制度改正案について

⑤ 資源の出しやすい環境づくり ＜専門部会案＞

小松市リサイクルステーションマップ



市リサイクルステーション

民間リサイクルステーション（主に古紙等を回収）

民間リサイクルステーション（主に金属類を回収）

市民が近くで資源を出しやすい環境を作るため、ステーションが近くに所在しない松東地区に市ステーション新設を検討

・マップを町内説明会等で配布・HPで掲載、市民の利用を促す

制度改正案について

⑥ やさしい福祉施策 ＜専門部会案＞

改正案	対象	①小松市介護用品助成券受給者の方 ※要介護3以上の認定を受けている在宅要介護者の方 ②小松市日用生活用具給付事業（紙おむつ）受給者の方 ③出生届を出される方 ④1歳6カ月児検診を受診される方 ⑤おむつ定期便（生後3～12カ月の子どもに毎月紙おむつを配達）の利用者の中で選択した方
	数量	Mサイズ袋1パック（9枚） ⇒ 2パック（20枚） に拡大 ※⑤は1回の配達につき1パック
	回数	年1回 （変更なし）

⑦ ごみ減量化（3R・3バック・3キリ）の啓発 ＜専門部会案＞

■町内説明会での周知 …各町内で3R・3バック・3キリの内容・具体例を制度とともに説明

■広報こまつでの周知 …制度についての告知の際に合わせて掲載、可燃ごみ減量についての特集記事も検討

■リサイクルリーダー向け説明会での周知

…説明会を行わない町内会向け説明会で周知・啓発

■市ホームページでの掲載

■小学生向けのエコロジーパークこまつ見学時のごみ減量化メニューの作成

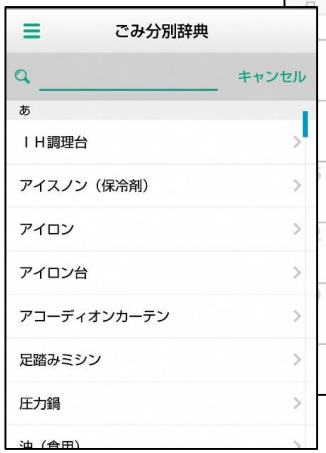
制度改正案について

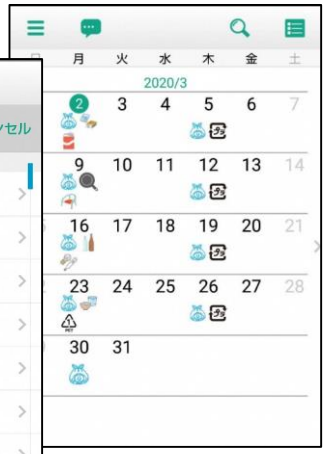
⑧ デジタルを活用したごみ出しマナーの啓発 ＜専門部会案＞

デジタルを活用した啓発ツール

こまつのごみ 分け方・出し方 検索アプリ

▼ごみ分別辞典





▲ごみ出しカレンダー

【主な機能】
- ■ごみ出しカレンダー
- ■ごみの出し方
- ■ごみ分別辞典
- ■アラート機能
- ■プッシュ通知機能（市からお知らせ通知）

App Store、Google Play からダウンロード可能

ごみの分別動画（YouTube）

ごみの分別の方法、ごみの出し方を動画で説明
Youtubeで公開・市HPからも閲覧可能

英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語に対応

■町内説明会で配布資料にQRコードを掲載して周知

■制度改正に合わせて各集積場に設置用のパネルを配布

・ごみ袋の変更、アプリのQRコード、ごみの減量化について周知

■外国人への周知

・外国人を雇用する事業所、小松市国際交流協会の日本語教室での啓発活動

■アパート等への周知

・アプリ、ごみ出しマナーの案内を宅建協会、アパート管理会社へ配布
⇒入居時に住民へ配布を依頼

制度改正案について

⑨ 食品ロス対策 ＜専門部会案＞

■ フードドライブ受取り窓口の拡充

R3 国府校下女性協議会で実施（年間1～2回で定期実施予定）
集まったものは「国府ふなみこども食堂」、
「フードシェアあったらもん」へ寄贈
R4～ 各女性協議会へ定期的な活動を呼びかけ
〇窓口の拡充　〇こども食堂・フードドライブ実施団体へ繋ぐ

■ 食べキリ協力店との連携強化

・飲食店でのエコレシピ・アレンジレシピ提供を打診
市ホームページでは現在市民の方より提供の10のレシピを公開
⇒食のプロからレシピ提供
市ホームページでもエコレシピ店舗を紹介
既存の協力店（141店舗）の活用・発信 ⇒ 新たな協力店の参加へ（目標200店舗）

■ 消費者への啓発強化

・食品ロス削減月間（10月）に合わせて、広報こまつや商工会議所会報などでの啓発

制度改正案について

⑩ 大規模排出事業者への指導 ＜専門部会案＞

・大規模な事業用建築物の所有者に対し、廃棄物減量計画書の提出を徹底

各事業者の廃棄物減量計画書から、業種ごとのごみ種類・排出傾向を分析

⇒ごみ減量化・リサイクル率向上のため、それぞれの業種に合わせたきめ細かな働きかけを行っていく

⑪ 事業所のICT化の推進 ＜専門部会案＞

・商工会議所会報などにより、事業所へICT化・ペーパーレス化を啓発

・エコロジーパークこまつへ直接大量に紙ごみを持込む事業所に対して個別に啓発

❶～⑪を実施し、
令和7年度の実績で効果を検証して、必要に応じて新たな制度を検討。

町内説明会の状況について

＜実績（7/1　現在）＞

●実施済：延べ56町内・団体
（合同説明会参加を含む）
●実施予定：延べ36町内・団体
●資料配布：52町内
●中間答申内容、市方針、ごみの減量・分別方法について説明

説明会告知

2/20　こまつ環境ECOフェスティバル　出席町内会に告知
3月末　全町内会に案内文送付（町内会長宛）
広報こまつ4月号に説明会告知を掲載
5月末　環境ECOフェスティバルに欠席、かつ説明会申し込みの無い町内会へ
再度案内文送付（町内会長宛）
・町内説明会開催
・合同説明会参加
・町内での資料回覧　のいずれかを依頼

合同説明会

6/21（第一コミュニティセンター）・6/26（市役所）・6/29（こまつドーム）

町内説明会の状況について

＜今後の予定＞

～7月　中間答申内容・市方針について説明会・資料配布等を実施

町内説明会・合同説明会により全町内へ中間答申内容を説明

9月末 ＝議会制度改正 に合わせて再度町内会へ案内

■町内説明会（希望に応じて随時）
　＝ 決定した制度の内容について説明

■リサイクルリーダー向け合同説明会
　＝ 町内説明会を実施しない町内を対象に開催

決定した制度内容について全町内へ再度説明

制度に関する意見・質問について

■町内会説明会で挙がった制度改正案に関する意見・質問①

<改正後の現行指定袋の使用に関する意見>

・残っている現行の指定袋は制度改正後も使えるのか。

・今の指定袋の在庫が家にあるが、来年4月から使えなくなるのか。指定袋がごみになるようだと、減量化にならない。

・5年分ほどの量の指定袋を既に購入しており、現行の指定袋の使用期限を設けないでほしい。

<指定袋の無償配布の廃止・エコロジーパークこまつの最低価格導入に関する意見>

・無償配布の廃止、エコロジーパークこまつの最低価格の導入は、どちらもごみ処理に対しての市民負担の増加となる。

・エコロジーパークこまつの最低料金の導入は、利用者にとっては実質値上げとなる。値上げにより収入が増加した分で、指定袋の無償配布を継続できないか。

・ごみの減量化を目的として、指定袋の有料化を行うということか。

<ごみ袋の価格・素材に関する意見>

・指定袋が他市より安価なのは、他市に比べて材質が薄いからでは。他市のごみ袋の質も調べた上で、安いという根拠を市民に示すべき。

制度に関する意見・質問について

■町内会説明会で挙がった制度改正案に関する意見・質問②

<ごみの分別・収集のルールに関する意見>

・ごみ収集に関して取り残しが多く、町内の負担が大きい。回収の基準を緩和して柔軟な運用をしてほしい。

・回収の基準を緩める代わりに出し方の悪い町内に罰を科す等検討してほしい。

<その他の意見>

・過剰な包装など、お店や企業にもごみ削減の呼びかけが必要。

・ごみ袋の有料化により不法投棄が増えるのではないか。

■議会からの制度改正案に関する意見・質問

・指定袋の無償配布の廃止時期として今が適切なのか。

・指定袋の単価をできる限り安く（現況の単価以下）すべき。

最終答申の内容について

1 家庭系一般廃棄物

(1) 無償配布制度

中間答申

○指定袋の無償配布制度を廃止する。

無償配布にかかる経費を他の減量化支援施策等に活用する。

(2) 指定袋について

1 2

①デザインを一新し、名称を「小松市指定ごみ袋」に改める。
②1パックあたりの枚数をL・LM・Mサイズは10枚入りに改める。
③現行の単価を据え置き、販売価格を以下のとおりとする

【指定袋の販売価格】

サイズ		枚数	販売価格	1枚単価
L	45L	10枚	210円	21円
LM	30L	10枚	190円	19円
M	20L	10枚	150円	15円
S	12L	15枚	150円	10円

なお制度改正後も現行のごみダイエット袋は
使用可能とする

【指定袋のデザイン】

Lサイズ袋

LM・M・Sサイズ袋

最終答申の内容について

(3) 町内会への支援制度の拡充 ③

管理する町内会の負担軽減のため、ごみ集積場に係る補助金を以下の通り改正することを提案する。

①現在「一般型」と「景観配慮型」に分かれている補助金を「ごみ集積場整備事業」に一本化し、
補助上限額を一般型8万円・景観配慮型20万円から一律25万円に、
補助率を一般型2分の1・景観配慮型3分の2から一律3分の2に設定する。

②補助金の交付を受けたごみ集積場は、7年間補助金の申請を行えないという基準について、集積場単位から集積カゴ単位とする

③防犯カメラ等への補助金を「ごみ集積場関連整備事業」として別途設け、補助上限額を10万円、補助率を3分の2に設定する。また7年間の制限を「ごみ集積場整備事業」とは別に設け、2種類の補助金を同時申請可能とする。

改正後のごみ集積場補助制度（案）

【ごみ集積場整備事業】

対象	上限金額	補助率
ごみ集積場の新設・修繕	25万円	要する経費の2/3

・一つの集積カゴにつき、一度交付を受けてから7年間は申請できない

【ごみ集積場関連整備事業】

対象	上限金額	補助率
ごみ集積場管理に係る物品	10万円	要する経費の2/3

・防犯カメラ等の集積場の管理に必要な物品等が対象
・7年間の制限は集積カゴとは別に設ける

2種類の補助金は同時申請可能とする

最終答申の内容について

(4) 家庭用生ごみ処理機 ④

可燃ごみの約4分の3を占める生ごみの減量化のため、生ごみ処理機購入に対する補助金を拡充し、補助上限額を3万円から5万円とする。

(5) 資源の出しやすい環境づくり ⑤

①市民が近くで資源を出しやすい環境づくりのため、市、民間ともにリサイクルステーションが近隣に所在しない松東地区に新設を提言する。

②町内説明会でのマップの配布や、市ホームページでリサイクルステーションの周知を行い、市民の利用を促す。

(6) やさしい福祉施策 ⑥

①これまで対象としていた要介護者や乳幼児に加え、「赤ちゃん紙おむつ定期便」でも指定袋を選択可能とする。

②配布枚数をMサイズ1パック(9枚)から、2パック(20枚)に拡大する。
なお、「赤ちゃん紙おむつ定期便」利用者については1回の配達ごとにMサイズ1パックとする。

最終答申の内容について

(7) ごみ減量化の啓発 ⑦

①町内会での説明会や、リサイクルリーダー等へ向けた合同説明会で、3R・3バック・3キリの内容・具体例を制度とともに説明する。

②広報こまつや市ホームページでも制度についての告知の際に合わせて掲載する他、可燃ごみ減量についての特集記事の掲載も提案する。

(8) デジタルを活用したごみ出しマナーの啓発 ⑧

①既存の「こまつのごみアプリ」、分別動画を活用し、町内説明会等の配布資料にそれぞれのQRコードを掲載し周知を行う。

②各集積場に設置するパネルを全町内会へ配布し、ごみ袋の変更やアプリ、ごみ減量化について周知を行う。

③外国人に対しては、雇用する事業所や小松市国際交流協会を通しての啓発活動を行う。

④アパート等の入居者に対しては、アプリやごみ出しマナーの案内を宅建協会やアパートの管理会社に配布し、入居時に住民への配布を依頼する。

(9) 食品ロス対策 ⑨

①各校下女性協議会に定期的な活動を呼びかけ、受取り窓口の拡充や、こども食堂・フードドライブ実施団体につなぐ活動を積極的に推進する。

最終答申の内容について

2 事業系一般廃棄物

(1) 手数料の改定

中間答申

エコロジーパークこまつへの搬入手数料を改定し、**12円／kgとする。(現行：10.2円／kg)**

(2) 食品ロス対策

9

①飲食店にエコレシピ・アレンジレシピの提供を打診し、市ホームページで店舗とともに紹介する。
既存の食べキリ協力店を活用・発信することで、新たな協力店の参加につなげる。

②10月の食品ロス削減月間に合わせ、広報こまつや商工会議所会報で、消費者への啓発を行う。

(3) 大規模排出事業者への指導

10

大規模な事業用建築物の所有者に対し、廃棄物減量計画書の提出を徹底する。また各事業者の計画書から業種ごとの種類・排出傾向を分析し、ごみ減量化・リサイクル率向上のため、業種に合わせたきめ細かな働きかけを行っていく。

(4) 事業所のICT化の推進

11

①商工会議所会報などにより、事業所へICT化・ペーパーレス化を啓発する。

②エコロジーパークこまつへ直接大量に紙ごみを持込む事業所に対して個別に啓発を行う。

最終答申の内容について

3 エコロジーパークこまつ

(1) 少量持ち込みの抑制対策

中間答申

少量持ち込みへの対策として搬入手数料に最低価格を導入する。

- 家庭系：50kgまで500円（以降10kgごと102円・単価は据え置き）
- 事業系：50kgまで600円

(2) 環境教育の充実

7

小学生向けに、エコロジーパークこまつ見学時のごみ減量化メニューを実施する。

最終答申の内容について

4 達成目標

（1）新たな目標と効果検証

中間答申

①現在目標は実現可能性が低いことから、新たな目標を提案する。

	令和7年度（中間目標）	令和12年度（目標）
ごみ減量化率 （平成20年度対比）	30%	33%
リサイクル率	25%	30%

②中間目標とする令和7年度の実績より効果を検証し、改善状況により再度制度の検討を行う。

5 制度の開始時期

中間答申

新制度については、市民への周知期間を考慮し**令和5年4月**からの開始を提案する。地元説明会などで改正内容やごみ減量化の効果的な取組、ごみの分け方・出し方などの分別方法について丁寧な説明を求める。

循環型社会に向けた
リユース推進に関する協定書について

循環型社会に向けたリユース推進に関する協定書について

令和4年5月30日　「循環型社会に向けたリユース推進に関する協定書」を
ウリドキ株式会社と締結

・不用品を再利用するリユースによる廃棄物の減量を推進
・インターネットを活用したリユース事業を展開

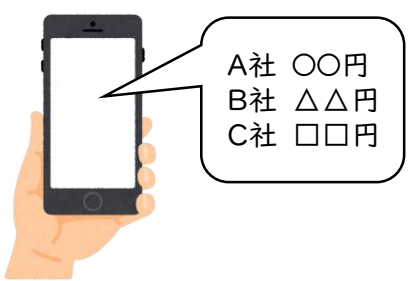
<u>リユース活動の加速によりごみの削減につなげる</u>

ウリドキ

uridoki

スマートフォンから利用できる不用品の買取一括査定サービス

商品情報を入力



複数社から査定が届き
お好きな買取先を選べます

町内説明会でも周知・案内を実施

報告2

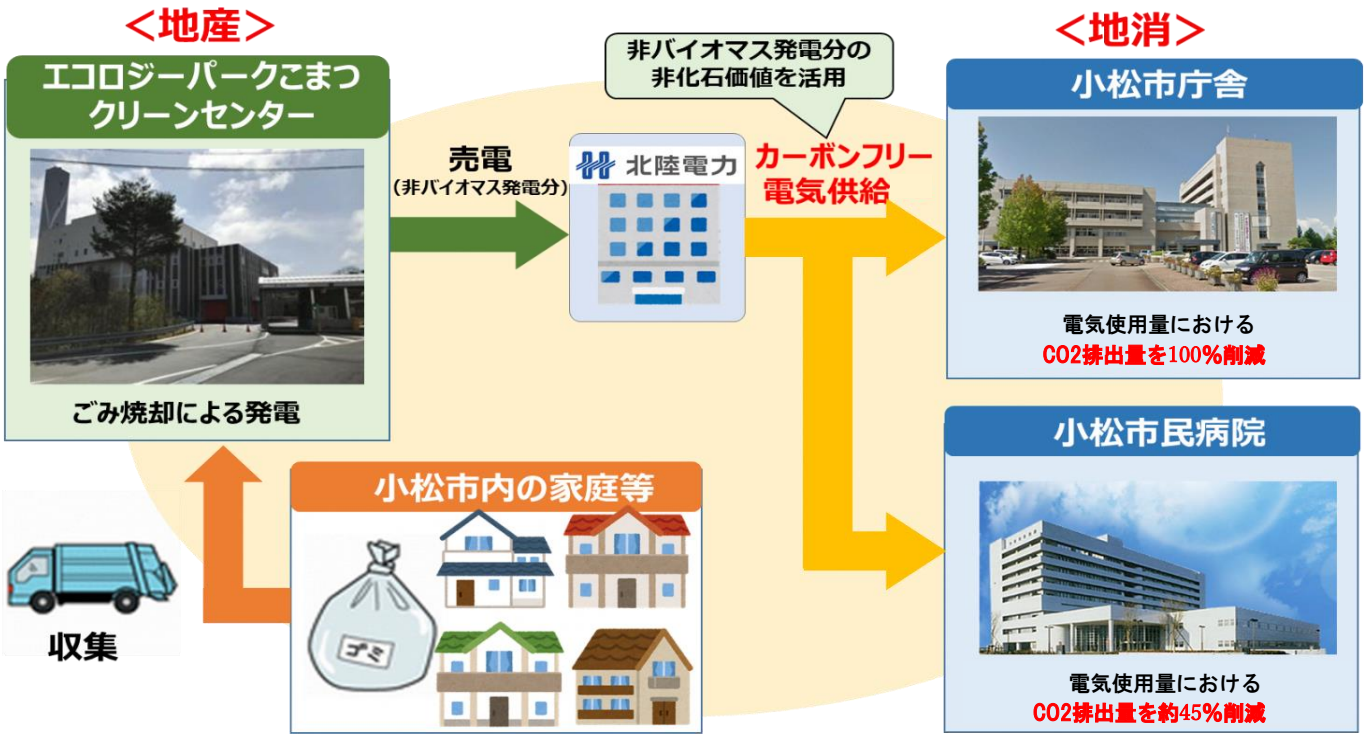
カーボンフリー電力の地産地消について

カーボンフリー電力の地産地消について

エコロジーパークこまつのバイオマス発電の非化石価値を活用し
北陸電力㈱が市役所庁舎・市民病院にカーボンフリーの電気を供給

2月18日　北陸電力㈱と覚書締結　⇒　4月から供給開始

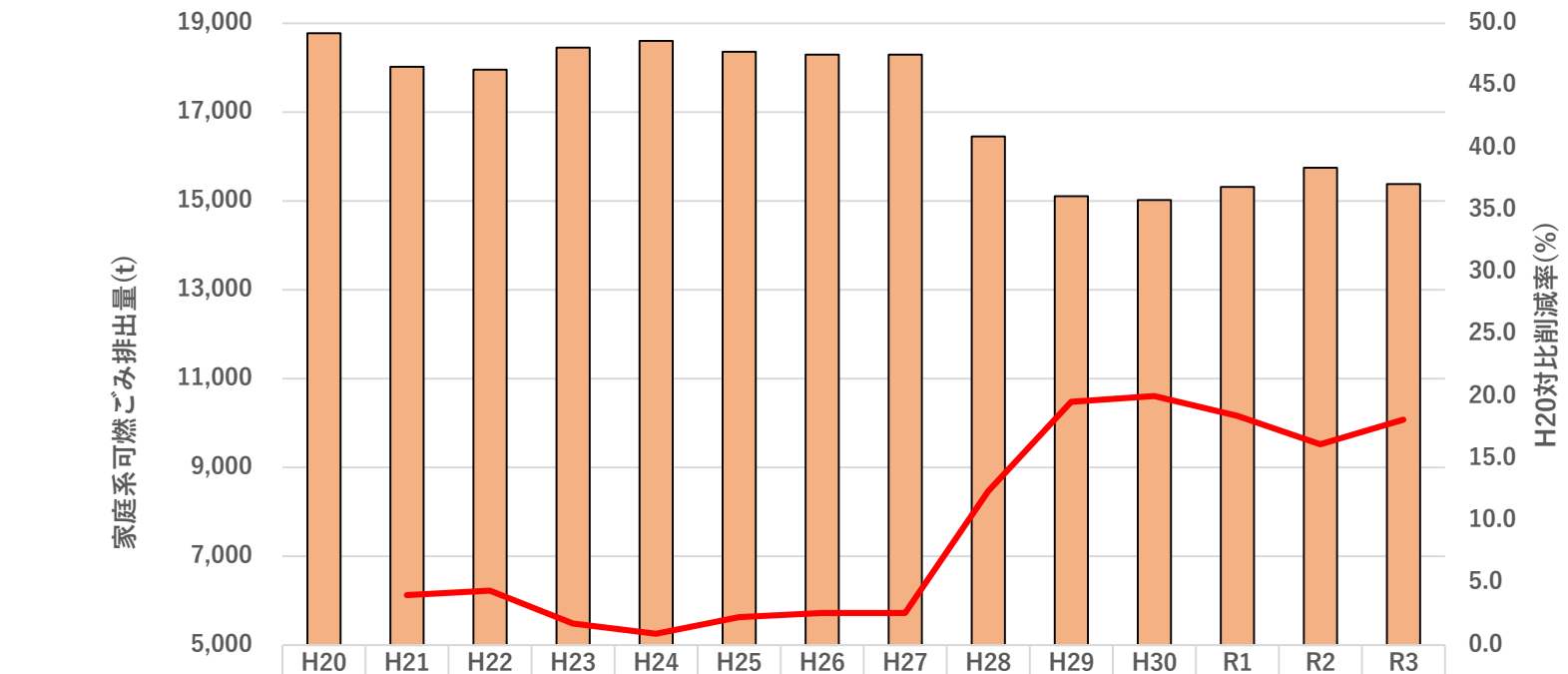
本取組により、CO2削減量は市庁舎と小松市民病院を合わせて年間約1,600トンとなる。また、市の施設全体では約12%～13%のCO2削減効果を得る。



参考資料

令和3年度　ごみ量・リサイクル率の実績について

家庭系可燃ごみの排出量とH20年度対比削減率の推移

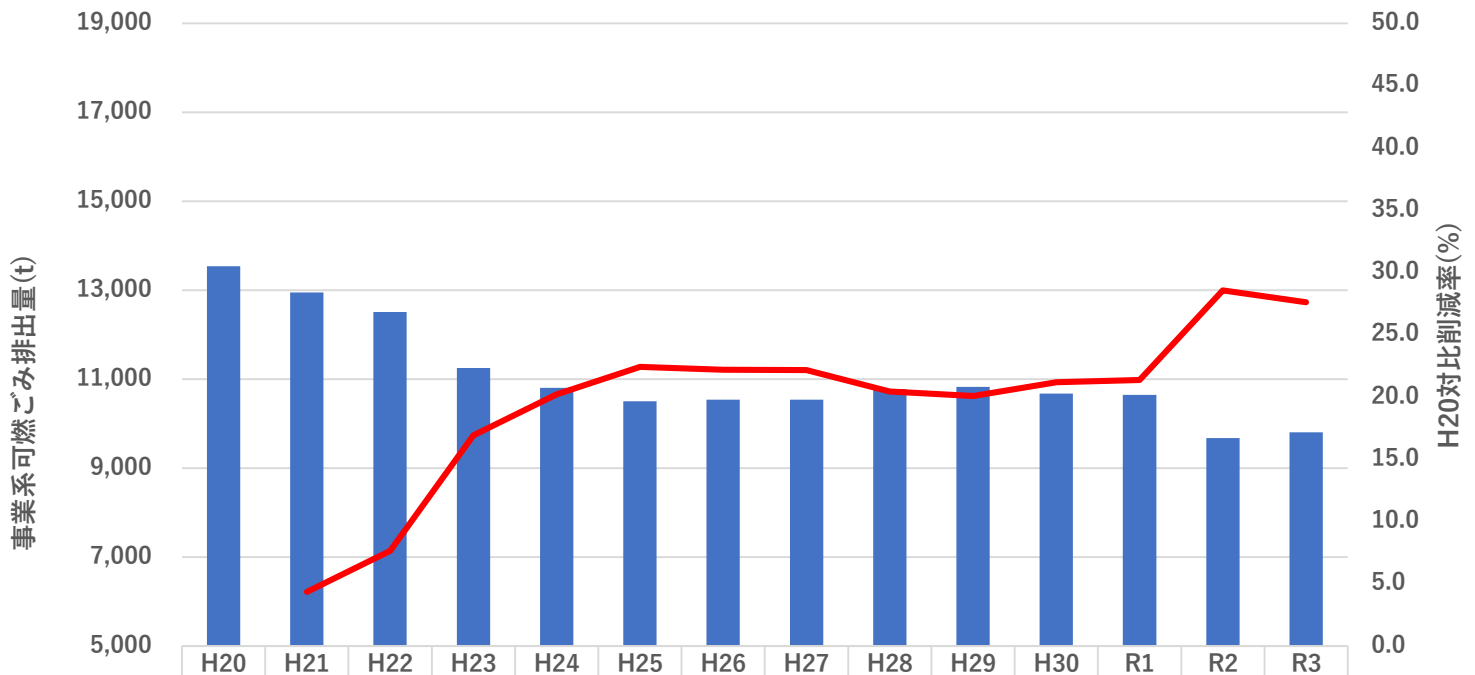


	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
可燃ごみ排出量(t)	18,777	18,022	17,953	18,453	18,605	18,357	18,292	18,295	16,455	15,104	15,018	15,316	15,748	15,376
H20対比削減率(%)		4.0	4.4	1.7	0.9	2.2	2.6	2.6	12.4	19.6	20.0	18.4	16.1	18.1

・家庭系排出量はやや減少に転じたが、依然として下げ止まり傾向がみられる。

令和3年度　ごみ量・リサイクル率の実績について

事業系可燃ごみの排出量とH20年度対比削減率の推移

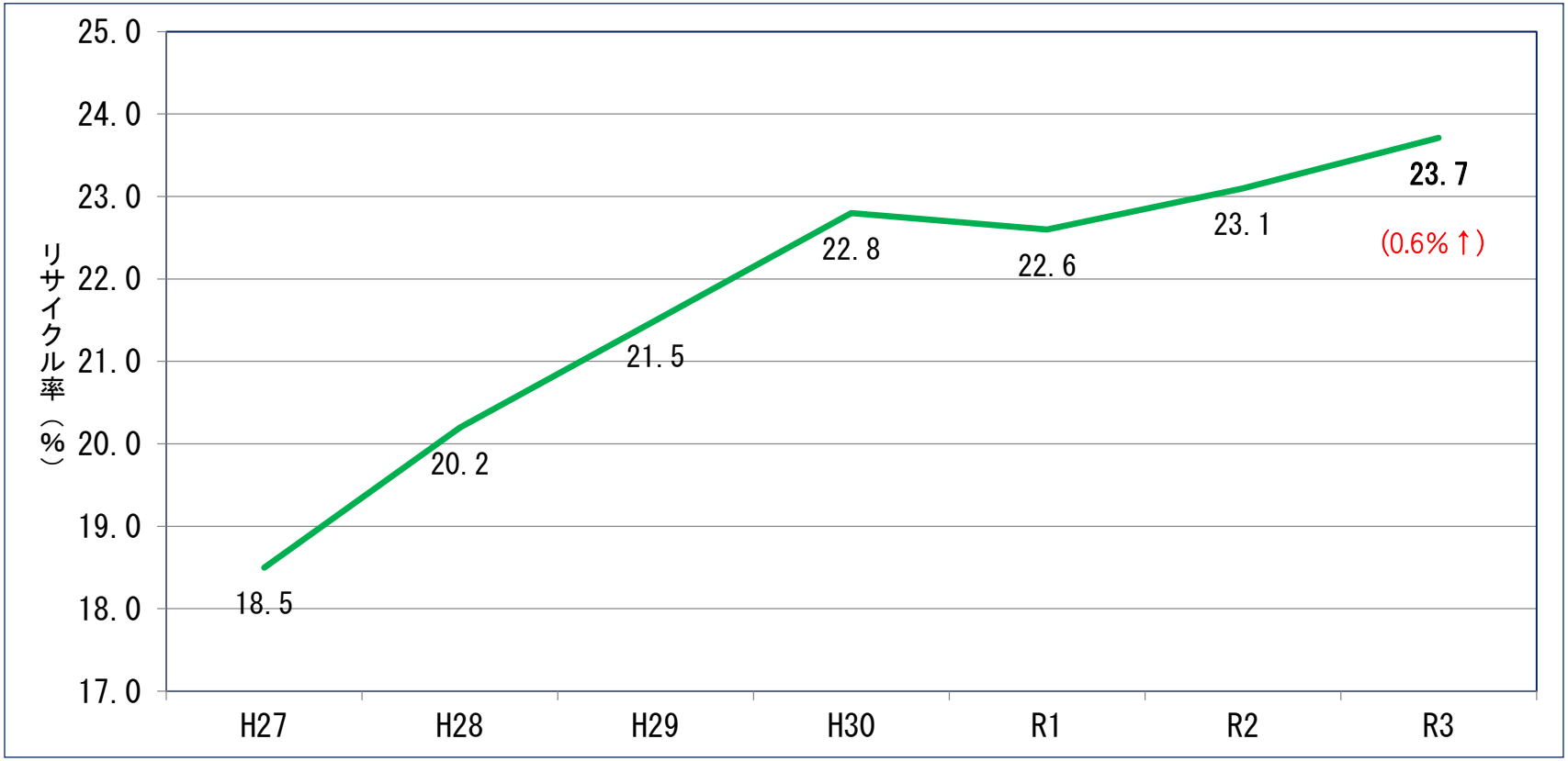


	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
可燃ごみ排出量(t)	13,540	12,950	12,507	11,250	10,804	10,505	10,536	10,541	10,773	10,823	10,673	10,647	9,675	9,802
H20対比削減率(%)		4.4	7.6	16.9	20.2	22.4	22.2	22.1	20.4	20.1	21.2	21.4	28.5	27.6

・家庭系排出量は減少に転じた一方で事業系は微増となったが，この要因には昨年度の感染症影響の大幅減少の反動，事業活動の活性化等が挙げられる。

令和3年度　ごみ量・リサイクル率の実績について

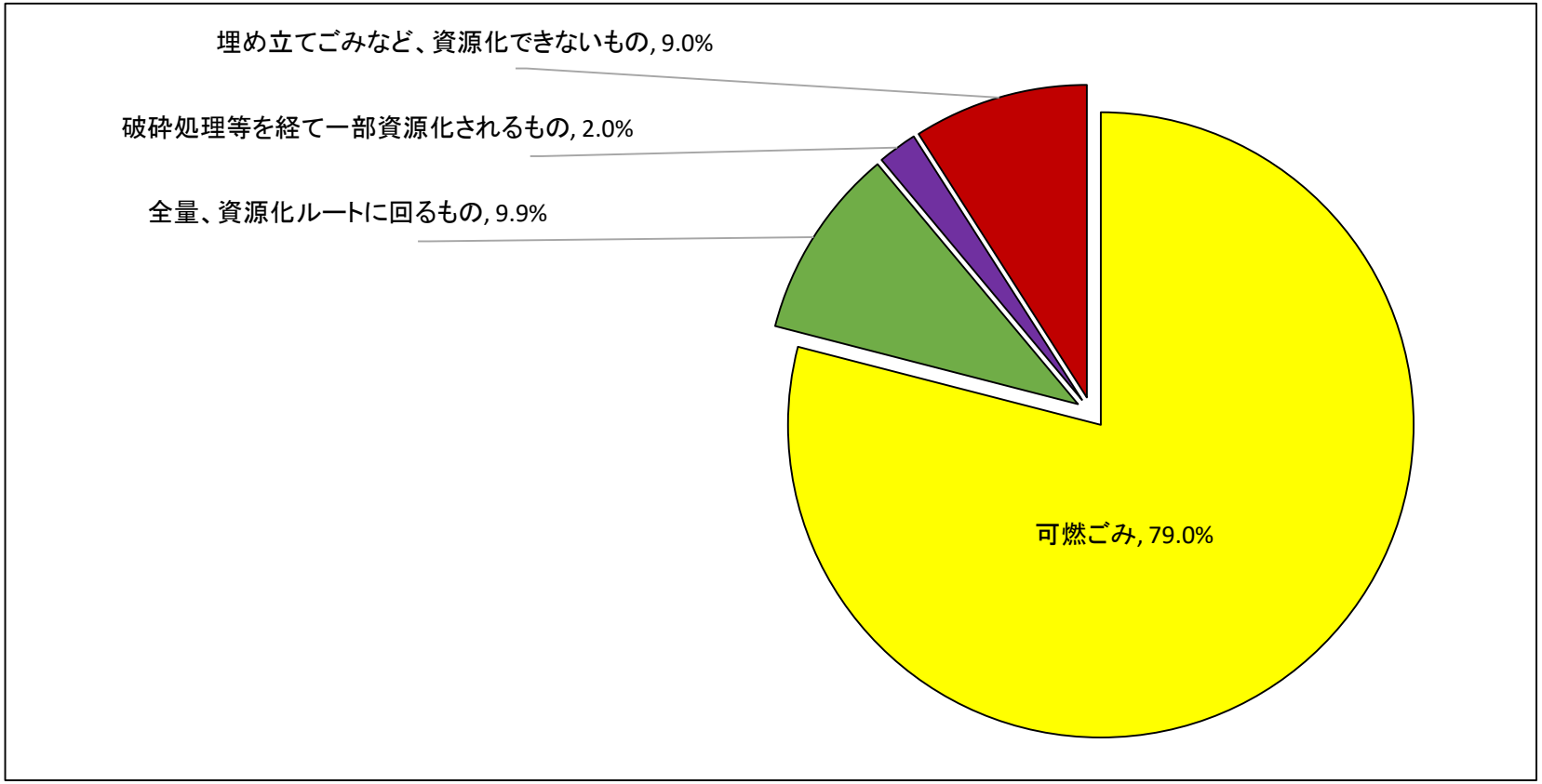
リサイクル率の推移（H27年度～、民間施設を含む速報値）



・同じく過去最高となったが，要因として民間事業者が設置するリサイクル拠点が増加し利便性が向上。より便利な環境となったことが挙げられる。

令和3年度　ごみ量・リサイクル率の実績について

種類別ごみ量の内訳（令和3年度ごみ量より，除く民間事業者）



・可燃ごみの全体に占める傾向は約80%で大きな変動は見られない。
・ごみ量の大幅削減には可燃ごみの減量化が必須

中間答申内容について

2月17日＝環境審議会より制度改正内容について中間答申

―中間答申の主な内容―

H28.10【家庭系】ごみダイエット袋制度導入
H28.7【事業系】搬入手数料改定（8⇒10円/kg）
H30.7 搬入手数料の従量制導入

・目標（50%削減）達成できず（R2=16.1%）
・エコロジーパークでは渋滞発生
⇒収集業務に影響

制度改正が必要

①家庭系可燃ごみ	②事業系可燃ごみ	③エコロジーパークこまつ
指定袋制度の是正 （無償配布の廃止）	搬入手数料の改定 10.2円⇒12円/kg	搬入手数料の最低価格の導入 家庭系：50kgまで500円 事業系：50kgまで600円

④達成目標

	R1年度実績	R2年度実績	R3年度実績	中間目標年（令和7年度）	目標年（令和12年度）
家庭系可燃ごみ減量化率（H20年度対比）	18.4%	16.1%	18.1%	30%	33%
事業系可燃ごみ減量化率（H20年度対比）	21.4%	28.5%	27.6%	30%	33%
リサイクル率	22.6%	23.1%	23.7%	25%	30%

R7年度の実績より効果を検証。改善状況により制度検討（R8年度上半期）

令和5年4月より 新ごみ制度スタート

改正内容・ごみ減量・分別について地元説明会等で丁寧に説明

参考資料

<指定袋の無償配布の廃止に関する意見に対して>

〇可燃ごみ量がリバウンドし、ごみ削減のための取組が必要
〇無償配布に際して様々な問題点や、年間4,000万円の経費

➡ 以上の理由により無償配布の廃止

〇ごみ袋を1枚目から買ってもらうことにより、ごみを減らそうとする意識を醸成
〇市民負担に対しては集積場への支援等を拡充させ、町内の負担を軽減
〇リサイクルステーションの設置や啓発により、資源の出しやすい環境を整備
〇ごみ減量化のため ・R3年度：コンポスト（1/2・5,000円⇒2/3・7,000円）
・今回：生ごみ処理機（3万円⇒5万円） の補助を拡充

<エコロジーパークこまつの最低価格導入に関する意見に対して>

〇エコロジーパークの台数増加による収集業務等への影響により少量持込の抑制が必要
〇改正前と料金の変わらない、50kg以上で持ち込むよう呼びかけ

<ごみの分別・収集のルールに関する意見に対して>

〇集積場の管理・マナー向上の取組が良い町内会

➡ 平成30年度より「こまつECOまち表彰」にて表彰（・収集委託業者より推薦 ・年1回 大賞1町・優秀賞2町を表彰）

〇集積場の管理・マナー向上の取組が良くない町内会

➡ 収集委託業者から聞き取り。マナー・管理についての指導を今後検討

参考資料

＜企業・店舗への呼びかけに関する意見に対して＞

〇商工会議所会報等で各事業者に呼びかけ
〇大規模事業者に対しては減量計画書提出を徹底

＜無償配布廃止による不法投棄の増加に関する意見に対して＞

指定袋導入前後の不法投棄件数（実績）

H27年度：70件
H28年度：50件 ➡ H29年度：30件

指定袋導入による不法投棄増加は見られず、今回も同様と予想している。

＜議会からの意見（無償配布廃止の時期）に対して＞

〇コロナ禍による行動様式の変化により、事業所からのごみ量が減少する一方で、家庭からのごみ量が増える傾向があるため、家庭系可燃ごみの減量化には早急な対策が必要。

➡ 周知期間も考慮し、令和5年4月から無償配布を廃止

参考資料

県内市町　指定袋の厚さ・材質・価格一覧

市町	厚さ	材質	色	45L単価
かほく市 津幡町 内灘町	0.025㎜	高密度ポリエチレン	半透明	45円
金沢市	0.03㎜	低密度ポリエチレン	半透明	45円
輪島市	0.03㎜	ポリエチレン	半透明	30円
志賀町	0.03㎜	低密度ポリエチレン	黄色半透明	30円
穴水町	0.03㎜	高密度ポリエチレン	半透明	30円
能登町	0.03㎜	高密度ポリエチレン	半透明	30円
能美市	0.03㎜	高密度ポリエチレン	半透明	28円
小松市	0.03㎜	低密度ポリエチレン	半透明	21円
珠洲市	0.035㎜	ポリエチレン	緑色半透明	60円
加賀市	0.035㎜	ポリエチレン	黄色半透明	50円
中能登町	0.035㎜	低密度ポリエチレン	青色半透明	50円
羽咋市	0.035㎜	低密度ポリエチレン	黄色半透明	50円
七尾市	0.035㎜	低密度ポリエチレン	黄色半透明	45円
宝達志水町	0.035㎜	高密度ポリエチレン70% ・ポリエチレン30%	黄色半透明	40円

県内市町の指定袋は0.025㎜～0.035㎜であり、素材・厚みともに小松市の指定袋は一般的。

参考資料

市民のリサイクルを広めるマップ（回収店舗案内）

・持ち込みは無料です。持ち込み可能な日や時間を確認し、マナーを守って出してください。
・ここに紹介されていないステーションもあります。ステーションの情報は随時更新していきます。

― 市リサイクルステーション ―

1. **1号店 サービスセンターあしだ内**（芦田町2丁目7-1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・古着・廃油
2. **2号店 小松サン・アビリティーズ**（符津町念仏ケ2-7）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・古着
3. **3号店 松陽地区体育館駐車場**（大領町な66）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・古着
4. **4号店 国府地区体育館駐車場**（河田町ヌ18番地）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・古着

― 主に金属を扱う協力ステーション ―

1. **株式会社 柿田商店**（工業団地1丁目37番地7）
【回収品目】金属類全般・非鉄金属全般
2. **有限会社 河村商店**（大領町ね82）
【回収品目】金属類全般・電線・アルミ缶・鍋釜類等
3. **木下商店**（八幡町61）
【回収品目】鉄くず
4. **福光商店**（下牧町ツ38）
【回収品目】鉄くず全般

― 古紙・トレー等を扱う協力ステーション ―

1. **アルビス小松城南店**（下牧町己1街区1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶・トレー・ペットボトル
2. **アルビス小松幸町店**（幸町3丁目119）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶・トレー・ペットボトル
3. **大松商事㈱ 本社**（園町ロ41番地1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
4. **大松商事㈱ 安宅工場**（草野町ニ13）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
5. **大松商事㈱ Kahma21小松店**（不動島町1番）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
6. **大松商事㈱ 矢沢**（矢田野町へ48番1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
7. **大松商事㈱ 矢崎**（矢崎町ナ102番1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
8. **㈱太陽紙業 小松**（今江町9丁目264-1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶・スチール缶・古着
9. **㈱中部資源再開発 安宅工場**（浮柳町ソ243番地1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・空缶・金属くず
10. **東商店**（大領町そ148）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
11. **松下商店**（八幡町148）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック
12. **マルエー若杉店**（若杉町2-97）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・空缶・ペットボトル・古着
13. **マルエー符津店**（符津町タ36-2）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・空缶・ペットボトル・古着
14. **Aコープ粟津店**（島町ル100-1）
【回収品目】新聞・雑誌・紙パック・トレー
15. **Aコープ今江店**（今江町1-305）
【回収品目】新聞・雑誌・紙パック・トレー
16. **㈱カミ商小松**（長崎町さ2-1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・その他の紙類・機密文書処理
17. **㈲犬丸屋本店**（土居原町753）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・スチール缶
18. **イオンモール新小松**（清六町315）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・トレー・ペットボトル・空缶
19. **イオン小松店**（平面町ア69番地）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・トレー・ペットボトル・空缶
20. **アル・プラザ小松**（園町ハ23-1）
【回収品目】新聞・雑誌・紙パック・空缶・トレー・ペットボトル
21. **バロー小松東店**（若杉町101番地）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・アルミ缶・トレー・ペットボトル
22. **バロー串店**（串町ス11番1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール・紙パック・アルミ缶・トレー・ペットボトル
23. **ゲンキー白江店**（白江町ト1番1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
24. **ゲンキー符津店**（符津町ム30）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
25. **ゲンキー八幡西店**（八幡209）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
26. **ゲンキー長崎町店**（長崎町2-78）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール
27. **ゲンキー粟津店**（湯上町ろ5番1）
【回収品目】新聞・雑誌・段ボール

※令和4年4月1日現在

市・民間のリサイクルステーションを網羅したマップを作成。
町内説明会で配布・市HPにも掲載し、市民の利用を促す。